

## 鳥獣対策だより

住宅地や農地には、イノシシなどの大型獣だけでなく、いろいろな中型獣も出て来ます。

代表的な中型獣として、ハクビシン、アライグマ、タヌキの特徴をご紹介します。それぞれの生態に応じた対策をしましょう。



ハクビシン

顔の中心に白い線があります。

木登りが得意で、爪のかからない柱やロープでも登ることができます。雑食性ですが、甘みが強い餌を好みます。



顔にアイマスクのような黒い模様と、尾に縞模様があります。

手先が器用で、木や柱などに爪をかけて登ります。

スイカなどは手を使って中身を取り出すこともあります。

甘みが強い餌を好みます。



©WMO

アライグマ



タヌキ

目の下に、左右に分かれた黒い模様があります。

木に登ったりすることは得意ではありません。

一カ所にまとめて糞をする「ため糞」と呼ばれる習性があります。雑食性で、何でも食べます。



中型獣の対策は裏面です

# 中型獣の対策例

鳥獣対策は、相手を知ることが第一歩です。  
特徴や習性を理解して、対策に活かしましょう。

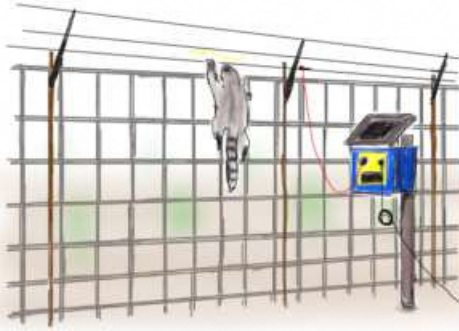
写真：倉庫の屋根裏に侵入したアライグマ



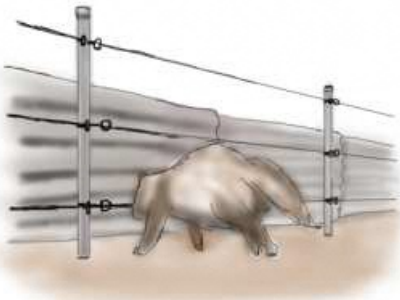
近くに収穫していない果樹があったり、  
不要な作物を放置していると、様々な動物  
を寄り付かせてしまいます。対策は動物の  
餌となる物のない環境を整備することから  
始めましょう。



アライグマやハクビシンなどの登ることが  
得意な動物は、金網のワイヤーメッシュ  
柵の上に電気柵を組み合わせた、複合柵の  
対策が有効です。ワイヤーメッシュ柵は、  
目の細かいものを使うか、ネットを併用し  
ましょう。



電気柵で侵入を防ぐ場合は、下の電線の  
高さが地面から5cmくらいになるように  
設置しましょう。電気柵の内側にトタンな  
ど、目隠しになるものを立てると、さらに  
効果的です。



ここもチェック！ イノシシの対策は👉

「復興庁 **イノシシ被害対策技術マニュアル**」で検索！

<https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-4/wildlife/20190118111241.html>

ページの下方向対策技術マニュアルがあります。（データ通信料が発生します。）



福島県では、避難地域鳥獣対策支援員を避難地域12市町村に配置しています。地域住民と共に鳥獣害対策に取り組み、コミュニティの再構築を図ることを目的としています。



対策のご相談、情報提供はお住まいの市町村の担当課へ！